

エコバックのデザインについて

1 デザインについて



エコバックのデザインは、「向鳩」に込められた郷土愛をモチーフに、消防ヘルメットやホース等消防の要素を取り入れ、「地域に愛される防人」をコンセプトとして制作しました。

鳩が象徴する平和と協力の精神に、古から市民の防火意識を呼びかける言葉として広まったと言われる「火通要慎（火の用心）」と地域の防火・防災への願いを重ね合わせ、安全で安心なまちづくりへの思いを表現しています。

赤色は消防、紺色は放水をイメージしています。

2 向鳩の由来は？



鎌倉時代、鎌倉では源氏が崇拝する八幡信仰が人々に広まり、鳩は八幡神の使いとされ、鶴岡(つるがおか)八幡宮(はちまんぐう)本宮楼門の扁額にある「八」の文字は2羽の鳩が向かい合って描かれています。

初代足助氏となった山田重長の妻は源為朝(みなもとのためとも)の娘で、源頼朝(みなもとのよりとも)と親戚関係をもった人物です。このことから、足助は源家と深い信頼関係で結ばれていたことがわかります。

また、この紋章は頼朝に許された御家人(ごけにん)しか使用できないとても由緒あるものです。現在でも、この紋章は「対鳩」と呼ばれ親しまれ、足助にある小学校で校章として使われています。

協力：足助観光協会